大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F126310107537	設置等組織名	健康科学部（食品生命科学科）
大学名	京都光華女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	京都府	事業計画名	京都光華女子大学理系新学科開設事業

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。

当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。

計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応
フェーズ1	<全体> ①令和5年　9月　理系新学科設置調査室の開設（学内メンバーのみ） ②令和6年　4月　理系新学科設置準備室への移行（外部から有識者の招聘，職員の採用） <大学・自治体・企業等の連携関連の主な計画> ①令和5年　9月　京都府フードテック構想における学研フードテック研究部会（仮称）への参画 ②令和6年　5月　食関連，理工農系企業等と授業，インターンシップを含むカリキュラム検討開始 ③令和6年　8月　米国大学等への視察・訪問 <学生確保のための取組関連の主な計画> ①令和5年　9月　中高一斉訪問，出張講義等広報 ②令和5年10月　女子中高生を対象に新設学科に対する意識調査 ③令和7年　4月　新学科広報開始 ④令和7年　7月　女子高生・企業を対象としたニーズ調査 <人事・認可届出関連の主な計画> ①令和6年　8月　人事検討 ②令和8年　3月　新学科認可・届出	<全体> ①計画通り、9月に学内の教員・職員からなる設置調査室を設置した。 <大学・自治体・企業等の連携関連の主な計画> ①学研フードテック共創プラットフォームに複数の学内教職員が参画した。 <学生確保のための取組関連の主な計画> ①高校訪問は実施したが、出張講義等による広報は未着手である。 ②近隣高校の進路指導部教員を対象に新設学科に関する意識調査を実施した。 <全体> ②計画通り、４月に京都大学の名誉教授を雇用した。 <大学・自治体・企業等の連携関連の主な計画> ②フードテック関連の情報交換会への参加、企業視察により、新学科設立のための情報取集を行い、位置付や方向性について検討した。また、米国大学への視察・訪問も行い（下記③）知見を得て、インターンシップを含むカリキュラムの骨子を固めた。 ③米国大学等への視察・訪問を教授１名と事務局職員１名が行った。 <人事・認可届出関連の主な計画> ①人事については、考案されたカリキュラムをもとに、期待される教員像を固めた。 <学生確保のための取組関連の主な計画> ③実施に至らず ④実施に至らず <人事・認可届出関連の主な計画> ②認可・届出の提出には至らず事業廃止申請承認済	R6年度自己評価　【３】計画を十分に実施している。 R7年度自己評価　【１】計画を実施していない。 令和8年3月24日開催の理事会において、以下の理由により事業廃止を決定。 本事業の公募要領（令和5年度）に定める申請要件④においては、「大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること」が求められている。 本学の令和7年度の総収容定員充足率は71.7%であり、令和9年度新学科（健康科学部食品生命科学科（仮称））の設置認可申請までに同要件を満たすことは困難であると判断した。このため、令和8年3月24日開催の理事会において、本事業計画の廃止を決定した。 充足率低下の背景には、女子大学を取り巻く志願動向の変化があると考えられる。近年、女子大学から共学への転換や募集停止が相次ぐ中で、女子大学を進学先として選択する受験生層は縮小傾向にあり、本学においても令和4年度92.4%、令和5年度85.0%、令和6年度75.6%、令和7年度71.7%という状況となり、志願者の確保が近年困難となっていた。 こうした状況を踏まえ、本学では令和8年度より男女共学化を実施し、法人名・大学名を改めるなど、抜本的な改革に着手している。令和8年度においては入学定員を満たしており、改革の効果は着実に表れ始めているところである。 本事業については、現状としては申請要件を満たしていないため、廃止という決断に至ったが、今後、収容定員充足率を改善させ、新たな計画のもとで理系新学科の再検討を行っていきたいと考えている。
フェーズ2（前倒し）			○年度自己評価　リストから選択してください。
認可申請又は届出	令和8年3月　健康科学部食品生命科学科　設置認可申請予定		
フェーズ1（後倒し）			○年度自己評価　リストから選択してください。
フェーズ2	<学生確保のための取組関連の主な計画> ①令和8年　4月　新学科広報の強化 <新学科設置にむけた改修計画> ①令和8年　9月　新学科設置のため，改修工事開始 ②令和9年　2月　改修工事完了 <新学科機器備品> ①令和9年　3月　新学科用機備品購入および設置 <カリキュラム関連> ①令和8年　5月　資格審査		○年度自己評価　リストから選択してください。
開設又は定員増	令和9年4月　健康科学部食品生命科学科開設予定（入学定員40名　学士：理学関係、農学関係、家政関係）		
フェーズ2（後倒し）			○年度自己評価　リストから選択してください。
フェーズ3	<アセスメント関連> ①令和10年　7月　1期生授業等満足度調査（各セメスターごとに毎年実施） ②令和13年　3月　卒業生（1期生）満足度調査/卒業生就職先公表 <広報・設備関連> ①令和9年　　6月　2期生確保に向けての広報（毎年実施） ②令和9年　12月　設備補充・点検（その他，毎年実施） <カリキュラム関連> ①令和9年　　9月　FD・SD委員会の開催（毎年実施） ②令和10年　2月　1期生カリキュラムの点検，インターンシップ先の新規開拓		○年度自己評価　リストから選択してください。 ○年度自己評価　リストから選択してください。 ○年度自己評価　リストから選択してください。
定員減又は学部等の廃止	他学部等の入学定員の減少数:20名		